

道の駅建設に向けて

～今年度から建設が始まります～

交流人口の拡大と来訪者の回遊性を高めることを目的に整備される道の駅は、平成 29 年から 30 年にかけて、建設工事が進められることとなりました。

広報あびらでは、今後、各種会議の開催や工事の進捗状況など、オープンに向けた様々な動きをご紹介します。



SL 倉庫

蒸気機関車「D51 320」など貴重な資料を展示

農産物直売所

町内で生産される新鮮な農畜産品を販売



テイクアウトコーナー

地場産品を活用した当地ならではの軽食やドリンクなどを提供

特産品販売コーナー

チーズや菓子類、農畜産物加工品など、町の特産品を幅広く揃え、来館者へ地場産品を PR

ベーカリー厨房

特産品をトッピングしたオリジナル商品等、来訪者の需要が高いパン類を販売

安平町には、「農産品」「特産品」「歴史・文化」「風景」など、地域固有の強みが多数あり、これらはこの町に住む多くの「人」によって支えられています。

道の駅では、地域の強みを集結させて相乗効果によって更に価値を高め、町内外の人々との交流・つながりを生み出し、町全体の活性化につなげていきます。

今後の流れ

平成 29 年：建設工事 1 年目（基礎工事）

平成 30 年：建設工事 2 年目（外構、内部工事、SL 移設他）

平成 31 年：春オープン予定

建設地 追分柏が丘 49-1 ※柏が丘球場隣接地

敷地面積 9,919.80 m²

構造 道の駅センターハウス 鉄骨造 地上 1 階
農産物直売所 木造 地上 1 階

施設コンセプト

- ・回遊交流の拠点となる地域情報発信ステーション
- ・自由な交流や経済活動が広がる、地域活性のステーション
- ・まちの文化と歴史を後世に伝える過去と未来をつなぐステーション

道の駅で取り扱う商品の開発が進められています

3 月 24 日（金）に追分公民館で、道の駅での販売を想定し開発された商品の試食会が開催されました。道の駅では、シーズンごとの地場産品を活かしたテイクアウト商品が食の目玉となります。

今回は、一般社団法人あびら観光協会や町が冬季メニューとして考案した「揚げ長いも」や「長いもポタージュ」の試作品がお披露目され、「回遊・交流戦略検討会」や「あびら観光協会特産品開発専門委員会」のメンバー 21 名が試食。道内で活躍するフードコーディネーターさ氏の監修により完成した商品は、長いもの食感や素材の味が最大限感じられるよう、カットの大きさやトッピングに様々な配慮が施され、試食した参加者からは、食べやすさやおいしさに関する感想が寄せられていました。

今回試作された商品は、今後、イベント等での試験販売を重ね、道の駅オープン後の商品化に向けて検討が進められる予定です。

道の駅に関連することについては、下記連絡先までお問い合わせください。

問合せ 企画財政課 道の駅グループ ☎ 2411

